

| 報告期間 | ユーザー様名 | | S I 名・指導者名 | | | | |
|---|--|------|-----------------|-------------|------|------|-----|
| 2006年 11月 14日 (火) から 2007年 1月 30日 (火) まで | B 社様 | | 株式会社電算 有賀 隆夫 | | | | |
| 製品の内容、製品種類数、製品の単価(最高・平均・最低など) | | | | | | | |
| 部品塗装、製品:300種類 | | | | | | | |
| 生産形態、工程の要素 <input type="checkbox"/> 組み立て <input type="checkbox"/> 機械加工 <input type="checkbox"/> 板金 <input type="checkbox"/> プレス <input type="checkbox"/> 溶接 <input checked="" type="checkbox"/> 塗装 <input type="checkbox"/> メッキ <input type="checkbox"/> 研磨 <input type="checkbox"/> 鋳物 <input type="checkbox"/> 鍛造 <input type="checkbox"/> 熱処理 <input type="checkbox"/> 実装、SMT <input type="checkbox"/> 溶解 <input type="checkbox"/> スリット <input type="checkbox"/> 切断 <input type="checkbox"/> 溶断 <input type="checkbox"/> 成型 <input type="checkbox"/> 圧延 <input type="checkbox"/> 凝固 <input type="checkbox"/> 接着 <input type="checkbox"/> 食品加工 <input type="checkbox"/> プラスチック加工 <input type="checkbox"/> 化学薬品 <input type="checkbox"/> 衣類(裁断・縫製・ホタ) <input type="checkbox"/> 皮、ゴム、紙加工 <input type="checkbox"/> 織、編 <input type="checkbox"/> 印刷(除マニュアル等)・手書き <input type="checkbox"/> 染色 <input type="checkbox"/> エッチング その他 () | | | | | | | |
| 指導種類 | <input checked="" type="checkbox"/> 新規導入 <input type="checkbox"/> バージョンアップ <input type="checkbox"/> 再導入 <input type="checkbox"/> その他 () | | | | | | |
| 今回指導回数 | 1回目～7回目 | | | | | | |
| TPiCSバージョン | 3. 1 | | | | | | |
| オプション・DB | 受注販売、Oracle10g | | | | | | |
| アイテム件数 | 500件 | BOM | 800件 | 所要量計算 1回/1日 | 製番展開 | 回/月 | |
| 実績インプット | 件/日 | 伝票発行 | 1回/日 | 伝票発行 | 件/回 | 製番展開 | 件/回 |
| 出席者 | M氏、M氏、Y氏、H氏 | | | | | | |
| 今回の指導目的 | | | | | | | |
| <p>現在、手作業で実施している生産管理業務を、TPiCSを導入することにより“見える管理”を行いたいとの要望があり、まずはシンプルな管理を目指して導入準備を開始しました。</p> <p>お客様のシステム導入担当者の方は、既にTPiCS自体はご存知で、そのコストパフォーマンスは評価されていたので、TPiCSを導入するにあたっての心配はあまりありませんでした。</p> <p>ただし、現場の管理レベルやパソコンを使った管理など、ITリテラシとしてついていけるかどうか心配であるので、できるだけシンプルにかつ入力等効率化できる仕組みを目指し、本稼働までになるべく早く現場の担当者の教育を行いシステムに慣れてもらう必要があるとのことでした。</p> | | | | | | | |
| 経過 (発言者と内容) | | | | | | | |
| <p>■TPiCSのトレーニング受講</p> <p>まずは、プロジェクトを推進される担当者の方々(工場長、品質管理部長、営業部長、事務担当)全員にTPiCSのトレーニングを受講いただきました。</p> <p>■トレーニングの翌週から3ヶ月間(計7回の訪問)による指導を実施しました。</p> <p>【業務実装上のポイント】</p> <p>①お客様の主な業務は、部品メーカーなどの得意先から部品の支給を受け、その部品に応じた塗装を行っています。塗装に使う材料を調達し、塗装を行い、検査後に出荷します。工程としてはシンプルですが、検査後の不良の対応において塗装の対象となる部品は得意先からの支給品なのでその管理方法や、検査で不良がでた場合の再生/廃棄などの対応方法に応じた管理方法などを重点的に</p> | | | | | | | |

検討しました。検討に際しての留意したポイントは、以下の4点です。

- ・なるべくシステムへの入力を少なくする
- ・そうは言っても在庫の精度は多少のタイミングの遅れはあっても維持する
- ・注残や受注残のクローズなど人が覚えておいて、別のタイミングで実行することによる漏れなどは極力なくしたい
- ・不良など実績インプットのタイミングのずれによる、余計なジャーナルや特急注文は出たくない

②当面は現場の管理レベルも考慮して実績インプットは数量情報のみにとどめるが、将来的には実際原価を捉えるべく、まずは標準原価計算ができるよう過去の実績データを評価して、各種マスタを設定して標準原価の積上げを行い、ある程度目安となる原価を計算することができました。これにより、ひとまず営業上の値引き交渉に対する根拠や材料単価の製品原価へのインパクトなどを評価することができそうです。

【お客様の工夫】

帳票作成において、TPiCS 標準様式の伝票書式を評価して、結果として現品票や作業伝票は一部伝票デザインを修正してそのまま利用することとしましたが、仕入先や得意先など外部に出ていく伝票については、標準デザインの修正だけではうまく対応できず、多少見栄えの問題もあったので別途作成することとしました。

ここで本来であれば、TPiCS 添付の Still や OPRO を活用することになるのですが、簡易的なツールとは言え、やはりお客様が作るとなるとそれなりのトレーニングや勉強が必要になり、あまり時間もなかったため、お客様で市販の伝票作成ソフト（1.5万円程度）を購入し、2日程度で出荷時の納品書と発注伝票兼納品書（A4：ミシン目3分割）など、TPiCS の伝票データファイル（CSV）を読み込むだけで大変きれいな伝票ができました。

ヒサゴ、コクヨ等市販の定型様式がかなりの数用意されているので、完全なオリジナルでなければその場で伝票作成が可能です。そのコスト、伝票作成作業の容易さにおいて、小規模のお客様ではこれも1つの有効なソリューションであると思いました。

【現在の状況】

1月末時点で、既にプロトタイプとして代表的な製品のマスタ設定および生産計画から実績インプット、出荷まで一通りの運用上の評価が済んでおり、サーバおよびTPiCS 端末設定も完了しました。2月より全製品のマスタ登録と運用ベースの最終評価を行い、既に作成しつつある操作マニュアルを使って最終的な運用検証とユーザ教育を行う予定です。

なお、最終的な本稼動は4月を予定しています。

結 論

【これまでの評価】

データ件数やシステムの規模からすると、一般的なTPiCS 導入スケジュールの1つの目安である3ヶ月間で導入が可能なお客様です。ただ、こうした比較的小規模のお客様では、えてしてシステム導入を専属に近い形で進める担当者の方の割当がうまくいかないケース見受けられます。

業務のキーマンは当然忙しく、システム導入作業などやっつけられない状況に加え、お金のことは口を出すがシステム導入に際しては、システムベンダーだけでなく社員の工数がかかり必要であることを理解できない経営者の方が多い中、今回のお客様は、工場長はじめ各部門のキーマンの方が率先してシステム導入作業を進め、またほぼ専属に近い形でマスタ設定やマニュアル等文書作成などの作業を行う方をアサインして、きちんとした体制でTPiCS導入に臨まれたことが、これまでの最大の成功要因となっています。

以上

検討事項・要回答事項・要継続審議事項

| 事項 | | 担当部署 | | 期限 | |
|------------|-------------|---------------|--|--------|--|
| 事項 | | 担当部署 | | 期限 | |
| 事項 | | 担当部署 | | 期限 | |
| 事項 | | 担当部署 | | 期限 | |
| 事項 | | 担当部署 | | 期限 | |
| 事項 | | 担当部署 | | 期限 | |
| 事項 | | 担当部署 | | 期限 | |
| 事項 | | 担当部署 | | 期限 | |
| 事項 | | 担当部署 | | 期限 | |
| 事項 | | 担当部署 | | 期限 | |
| 事項 | | 担当部署 | | 期限 | |
| 事項 | | 担当部署 | | 期限 | |
| 次回開催日 (予定) | 次回開催場所 (予定) | 議事録作成日 | | 議事録作成者 | |
| | | 2007年2月6日 (火) | | 有賀 | |

Format1.1